

応募資格

- 1) 日本在住で日本国籍を有すること。
- 2) 学士号取得者または見込み者（2017年5月31日以前）で、下記のいずれかに該当する者
 - a. 英語教員免許保持者
 - b. 将来英語教育に携わる意志のある者
- 3) プログラムの性質上、特に若手からの応募を歓迎する。
- 4) 2014年8月～2016年8月実施のTOEFL (iBT) 79-80以上、またはIELTS (Academic Module) 6.0以上のスコアレポートを提出すること。指定期間内に受験したもので、ITP TOEFL (Institutional Testing Program) およびIELTS (General Training Module) のスコアは認めません。
- 5) 上記期間に実施されたTOEFLまたはIELTSを受験し、その結果が基準点に達していない場合でも応募は可能（要相談）。ただし、その場合は2016年12月末までに上記基準点をクリアすること。

求められている人物像

- 物事に真摯に向き合い、誠実な人
- 積極的に環境適応能力がある人
- 分別があり、教えることにプロ意識をもつ人
- リーダーシップがあり、学生に学ぶ意欲を持たせ、アメリカの地域社会に母国の社会を代表して紹介できる人
- 創造力や自立心があり、チームプレイヤーとして派遣先大学の教職員や学生と良い人間関係を保てる人
- 語学教員（アシスタント）と留学生としての役割を両立できる人

ビザ

J-1 Exchange Visitor Visa「政府スポンサーの交流訪問者」ビザ。訪米目的終了後、直ちに日本に帰国することが義務づけられています。米国に再入国する場合は、帰国後通算2年間日本に滞在したあとでないと、「移民」「短期勤務」「会社転勤」などのビザを申請することができません。なお、FLTAプログラムは同伴家族のためのビザは発行できませんので、単身で渡米することになります。

重要事項

いかなる場合も盗作行為 (plagiarism) を行った場合は、FLTA不適格者とみなされます。

応募締切日

2016年8月31日(水)

選考日程

2016年8月31日(水)

オンライン願書提出締め切り。
推薦状、英文成績証明書・卒業証明書、TOEFL(またはIELTS)スコアレポート等の書類も別途提出。

2016年 秋

日米教育委員会において審査(書類および面接)後、米国国務省に推薦。国務省およびIIE(米国協力機関)が最終選考を行う。

2017年4月頃

最終結果発表、派遣先大学決定

2017年8月

アメリカ国内でのオリエンテーション(1週間程度)に参加後、各派遣先大学に赴任。

応募に関する詳細は日米教育委員会のホームページを参照

<http://www.fulbright.jp/scholarship/programs/flta.html>

問い合わせ先および書類送付先

日米教育委員会(フルブライト・ジャパン)
フルブライト交流部

業務時間: 月～金 9:00～17:30

〒100-0014

東京都千代田区永田町2-14-2 山王グランドビル207

Tel: 03-3580-3233 FAX: 03-3580-1217

メールでのお問合せ: program@fulbright.jp

[f https://www.facebook.com/fulbrightjapan](https://www.facebook.com/fulbrightjapan)



奨学生募集



2017年度 フルブライト語学アシスタント (FLTA)プログラム

応募締切日: 2016年8月31日(水)

日米教育委員会(フルブライト・ジャパン)は、英語教員または将来英語教育に携わる意志のある方を対象に、「フルブライト語学アシスタント(FLTA)プログラム」の申請者を募集します。

プログラムの詳細については、下記ウェブサイトをご覧ください。
<http://www.fulbright.jp/scholarship/programs/flta.html>

FULBRIGHT
JAPAN

The Fulbright Experience for Global Leaders

フルブライト語学アシスタント (FLTA) プログラムとは

アメリカの大学で日本語を教えながら、

- ☑ 英語教育のスキルを高める
 - ☑ 自身の英語能力を高める
 - ☑ アメリカの社会や文化についての知識を深める
- ことを目的とした9ヶ月のアメリカ留学奨学金プログラムです。

奨学期間 2017年8月～2018年5月(9ヶ月間)

募集人数 12名

活動内容

- アメリカの大学で1学年間(9ヶ月間)、週20時間を限度に日本語クラスを教員として担当または補佐する(派遣大学により異なる)。
- カルチャーイベント、日本語クラブ等を企画・運営する。
- 大学でアメリカ研究や英語教授法等のクラスを受講する。

支給内容

- 履修する科目の授業料(各学期2コース)
- 宿舍・食事は大学より提供される(派遣先により変わる可能性あり。)
- 往復旅費(現物支給)
- フルブライト・グループ保険(傷害・疾病)
- 米国でのオリエンテーションやエンリッチメントカンファレンスへの参加
- 給付金(月額400ドル程度。派遣先により支給額は変わります。)

FLTA 同窓生の声 (最終レポートより抜粋)

◆ ウィスコンシン大学スティーブンスポイント校は教員養成が起源で、現在は自然資源学部の実力が高く、アメリカの環境教育の総本山とも呼ばれています。私は出願時の志望動機書に「教育におけるセカンドメジャーとして環境教育を学びたい」と書いたのですが、幸運にもIIEのスタッフと大学側がその記述に注目して私の任地が決まったようです。2学期間で受講したのはアメリカ政治学、環境倫理学、環境教育、教育テクノロジーの4コースでした。(中略)



2014年7月現在、本プログラムの対象者は私の応募時よりも若干幅広がっています。今後、特に教職者・社会人で出願を考えている多くの方々には、アメリカで生活し教えるというまたとないチャンスをぜひ掴んでいただきたいと願っています。FLTAプログラムでの新しい経験から培った力と人脈を、日米の教育向上のために今後も活かしていきたいと思えます。(2013年度 U. of Wisconsin-Stevens Point, WI)

◆ ひとりの学生として、そしてひとりの教師としてアメリカでの生活を体験できたこと、互いに励まし合えるTAの仲間や、異国の地で何年もプロとして働いている先生方、大切な友人や学生たちに出会えたこと、そして自分自身を成長させ、次に進むための課題を見つけることができたことなど、これだけのことを一気に経験できるというのは、やはりこのFLTAプログラムならではのものだと思います。(2013年度 Pacific U., OR)



◆ この10ヶ月、生活の最初から最後まで、本当に人の温かさ・優しさに支えられた日々だったと思います。また、慌ただしい日々の中にあっても、現地で働いて気付かされたことがあります。それは、どんな場所においても、どんなに大変なことがあっても、人は人によって支えられているということです。言語や文化、そして今まで育った環境とは全く違う慣れない土地で新しい仕事にチャレンジすることは相当のエネルギーとチャレンジ精神が必要です。しかしそれ以上

に得られることは多いです。私自身、この海外生活で様々な国籍・人種の友人ができ、それぞれの考え方や文化を知ること、今までの固定概念が破壊されたように感じます。また、多種多様な価値観を知ること、考え方の幅や視野が広がり、色々な人とのコミュニケーションもとりやすくなったように感じています。世界中から集まったFLTAが全米各地で活躍し、たくさんの経験を重ねるといふこのプログラムに、日本人として参加することができたことや、素晴らしい方々との出会いに感謝し、これからも日本人としての誇りをもって自分の道を歩んでいきたいと思えます。(2014年度 Casper Coll., WY)



◆ 二年前の夏、私は必死になってFLTAプログラムの書類を揃えTOEFLの受験をしていました。修士論文のかたわらそれらの作業をすすめるのは、とにかく大変でした。しかし、こうして一年弱の



FLTAとしての任務を終え最終レポートを書いていると、あのとき頑張っておいてよかったという気持ちでいっぱいです。それほどまでに充実した日々を送ることができました。(中略)

たった一年弱のことでしたが10年分くらいの経験をすることができました。とにかく濃い時間でした。またFLTA同期のみなさんとは助け合いながらも楽しい時間を過ごすことができました。今後は、このプログラムで培ったことを生かし、なんらかのかたちで社会に貢献することができたらと思っています。(2014年度 Pomona Coll., CA)

◆ 振り返ってみるとFLTAとしての9か月はあっという間でした。この9か月は今までの人生の中で、一番濃く、充実した日々でした。私はこれから英語の教員になりますが、このFLTAの経験を活かし、アメリカで見、聞き、感じ、学んだことを子どもたちに伝えていきたいと思えます。貧困や差別など、アメリカの目を背けたくない事実も、自分で見て、考えたことを伝えていき、日本、そして世界の平和を構築していきけるような教育をしていきたいです。(2014年度 Spelman Coll., GA)



さらに詳しいレポートを、ウェブで公開しています。 ▶ <http://www.fulbright.jp/scholarship/programs/flta.html>